

平成 20 年 10 月 22 日
環黄海経済・技術交流会議推進協議会
九州経済国際化推進機構
九州経済産業局
(社)九州経済連合会

「第8回環黄海経済・技術交流会議」を韓国・仁川広域市において開催しました

- 九・韓・中の産学官連携体制によるビジネス交流・人材交流の深化・拡大へ向けて -

<概 要>

1. 2008 年 10 月 21 日(火)、大韓民国・仁川広域市において、韓国政府、中国政府と連携・協力して、九・韓・中の環黄海地域における官民フォーラムである「第8回環黄海経済・技術交流会議『本会議』」を開催しました。
2. 九州側は、「環黄海経済・技術交流推進協議会(会長:鎌田 迪貞(九州経済連合会会長))、顧問:九州経済産業局長 橋高 公久)」メンバーのほか、企業、大学などから 80 名が参加し、韓国からは産業資源部 徐(ソ)通商協力政策官(局長)をはじめ 200 名、中国からは商務部 宋(ソ)副司長、科学技術部 姚(ヤオ)副司長ほか 85 名が参加しました。(参加者数:約 365 名)
3. 今回の仁川会合では、環黄海地域における三カ国の代表挨拶や関連事業の開催報告に加え、三ヶ国から相互協力・提案事項について発表を行いました。
4. なお、今回の会議に併せて「環黄海(産学官)ビジネスフォーラム」、「環黄海産学官連携学(総)長フォーラム」、「クリーン生産技術シンポジウム」、「自動車部品展示会」の 4 つのビジネス関連事業を実施しました。

<主なポイント>

今回の会議結果の主なポイントは次のとおりです。

- (1)「**本会議**」は、環黄海地域における多様なビジネス交流をはじめとする具体的な交流・成果を組成していく場として、その役割を果たしていくことを確認。環黄海地域における産学官連携の体制を構築。
三カ国相互協力・提案事項については、今後相互に必要な協議や調整を行うなどフォローアップに努め、その実現に向け努力。
- (2)「**環黄海(産学官)ビジネスフォーラム**」では、貿易・投資の促進、技術交流、人材交流等の更なる向上を目指し、産学連携の深化・拡大を図ることを目的に開催。
- (3)今回四回目となる「**環黄海産学官連携総(学)長フォーラム**」では、環黄海地域における産学官交流促進に向け、産学連携・学学連携・学官連携をテーマに教育、研究、人材育成について、より実践的な議論を実施。
- (4)「**クリーン生産技術シンポジウム**」は、環黄海地域における環境等に配慮した生産技術等、クリーンプロダクツの普及促進・啓発を図る場として開催。
- (5)次回の開催地は、中華人民共和国山東省煙台市(2009 年 7 月予定)。

(本件問い合わせ)

九州経済産業局 国際課 岡、植木、岡山 092 - 482 - 5423
(社)九州経済連合会 総務企画本部 矢野 092 - 761 - 4261

開催日:2008年10月21日(火)

■ 環黄海(産学官)ビジネスフォーラム

環黄海経済圏の交流の深化・拡大へ向け、貿易・投資の現状、産学官連携による技術交流、人材交流の推進についての講演及び企業・大学等による技術発表会、展示・商談会等

参加:約210名

■ 環黄海産学官連携総(学)長フォーラム

環黄海地域の大学による国際交流(大学間の人材交流、産学連携、学官連携)の現状及びモデル構築についての協議

参加:36大学機関約100名

■ クリーン生産技術シンポジウム

環黄海地域におけるクリーンプロダクツの普及促進へ向けたシンポジウム

参加:約150名

■ 自動車部品展示会

韓国・仁川広域市の自動車部品関連企業の展示会及び商談会等

■ 第8回環黄海経済・技術交流会議「本会議」

三カ国の代表挨拶、環黄海ビジネスフォーラム・環黄海産学官連携学(総)長フォーラムの開催結果報告、三カ国の相互協力・提案事項の発表等
(別添:会議総括)

参加:約300名



(別添)

第8回環黄海経済・技術交流会議総括

先ず、我が国で三回目に開かれた本会議に、お忙しい中にもかかわらずご参加頂き、環黄海地域間の協力強化方策について良いご意見をご提案下さいました3国代表団の皆様にお礼を申し上げます。

基調講演、ビジネスフォーラム及び大学総(学)長フォーラムの結果報告、3国間協力事業の提案の3パートで構成された本日の会議は大変充実した中に行われたと思います。

ビジネスフォーラムと大学総(学)長フォーラムは、3国の大学・企業・研究機関・政府などの関係者が一堂に集まり、今後の環黄海地域の発展方向に対する意見を交換し合う意味のある会議であったと思います。

同フォーラムが引き続き発展し、今後は域内における次世代の専門担当者の養成、及び先端産業の発展に向けた環境作りに中核的な役割を果たすことを願っています。

又、本日午後にはクリーン生産技術シンポジウムが開催されました。省エネルギー、環境保護など関連交流事業はすでに5回にわたって続いているにも関わらず、気候変動対応の必要性和グリーン成長の重要性などが強調される国際的な傾向を考えると、このような議論はタイムリーなものであり、必要だと思っております。

来年の会議をはじめ、今後開催される環黄海経済・技術交流会議でも関連主題に対する議論が継続的に行われることを期待します。

一方、本会議では省エネルギー・環境保護、交通物流体系構築、現代農業分野の協力強化、サービス・アウトソーシング促進、人的交流拡大等に係る協力事業が集中的に提案されました。以上のような提案事項の実効性を確保するため、日常的な情報交換の共有プラットフォーム構築の必要性が提起されました。

今般提起された事項は、3国のより緊密な協力の必要性をあらわした結果であると思います。フォローアップを通じて、具体的に実現されることを期待します。

全般的に、今回の交流会議をきっかけに開催された各種フォーラムや会議は、環黄海地域発展の在り方に対し具体的な意見交換が行われ、互いの理解を広げる良い機会になったと思います。来年に中国で開催される第9回会議を通して、3国間の協力が一層発展することを願います。

最後に、交流会議の開催にご協力頂いたすべての関係者の方々と、特に会議開催地として労苦を惜しまず準備をして下さった仁川市関係者の皆様に感謝申し上げます。

ありがとうございました。